

せせらぎ SeSeragi

漢方のよさ No.120 号 ～高血圧症Ⅲ～

発行日：2015年3月5日(木)

発行者：浮田 徹也



発行所：医療法人 せせらぎ 浮田クリニック

〒520-0242 滋賀県大津市本堅田 6-36-1

☎077-574-3751 ☎077-574-3792

HP: <http://www.ukita.gr.jp>

✉ e-mail: kanpou@ukita.gr.jp

梅が満開のころです。関西の梅の名所は数多くありますが、その中でも、北野天満宮(1000本)、大阪城(1270本)、中山寺(1000本)、青谷梅林(1000本)、月ヶ瀬梅溪(1000本)、追分梅林(1000本)、広橋梅林(1000本)、賀名生(あのう)梅林(1000本)、金熊寺(1000本)、綾部山梅林(黒崎梅林)(25000本)、南部梅林(100万本)、岩代大梅林(2万本)、千里梅林(6000本)、田辺梅林(30万本)、世界の梅公園(1800本)は1000本以上の梅を観照できます。お花見の始まりは奈良時代で、中国伝来の梅を貴族が観賞していました。平安時代に梅のお花見から桜のお花見に変化したとされています。『万葉集』(奈良時代)中100首が梅を題材とし、40首が桜を題材にしています。『古今和歌集』(平安時代)には大部分の歌が桜に代わりました。4月のお花見も素晴らしいですが、古くから愛されてきた「梅」にも目を向け観賞する時間を持てるといいと思います。皆様も是非気にいった梅を見つけてください。

むめが香にのっと日の出る山路かな(松尾芭蕉)

梅一輪一輪ほどの温かさ(服部嵐雪)

児をつれて小さい橋ある梅林(尾崎放哉)

高血圧症のお話です。せせらぎ11号、20号、45号、55号、56号、60号、68号、72号、77号、82号、116号も参照してください。原因をはっきり特定できず、一般に「高血圧」と言われている「本態性高血圧」と原因のはっきりした高血圧で、いくつかの病気の総称の「二次性高血圧」に分けられます。二次性高血圧には、ホルモンの異常で起こる「内分泌性高血圧」、腎臓の動脈が細くなる「腎血管性高血圧」、脳や中枢神経の異常で起こる「神経性高血圧」などがあります。「本態性高血圧」は高血圧をきたす原因となる病気もないのに、中年以降血圧が上昇してきます。食塩や脂質の過剰摂取、運動不足、肥満、ストレス、飲酒、喫煙などの環境因子が関係し、「**生活習慣病**」の1つと考えられ、両親または片親が高血圧というケースが多く、高血圧症患者の90%を占め、食塩をたくさん摂る地域で発症率が高いことが知られています。

では**実例**に移ります。

34歳女性、**高血圧症**、頭痛、腹痛、夜尿1回、手足の冷えを訴えて来院。142/95。顔色は両側ほほ紅潮、食欲良好、便1/4日。脈浮緊、紅色、乾厚黄苔、舌下静脈怒張。腹は緊張良好、心下痞、臍傍抵抗圧痛。そこで、四逆散+桂枝茯苓丸+四物湯+附子(朝夕後)処方。1ヶ月後(142/95)、頭痛以外の症状改善。4ヶ月後、生理前の頭痛が治らないため、桂枝茯苓丸+五苓散(朝夕後)に変更。10ヶ月後(136/84)、生理前頭痛が依然治らないため、桂枝茯苓丸+釣藤散(朝夕後)に変更。11ヶ月後(134/85)、生理前頭痛がやや減少。14ヶ月後(130/82)、生理前頭痛改善。現在も継続中。

46歳女性、**子宮筋腫**、月経過多、便秘(1/3days)、食欲良好。淡紅色、乾薄白苔、舌下静脈怒張、胸脇苦満や心下痞ないが、



(聖ヤコブ教会 ロートンブルグ)



Heilig-Blut-Altar(聖血に祭壇)
(ロートンブルグ)

中世ドイツ屈指の彫刻家リーメンシュナイダー(1460～1531)(Tilman Riemenschneider)の最高傑作「聖血祭壇」(1504)は、ロートンブルクの聖ヤコブ教会中2階にある。高さ10mを超える祭壇の左がイエスのエルサレム入城、右がゲッセマネ庭でのイエスの祈り、中央がリーメンシュナイダーの十二使徒の最後の晩餐。「聖血祭壇」と呼ばれる由縁は、上部の十字架の水晶の中にドイツ騎士団(十字軍)が聖地エルサレムから持ち帰ったと言うキリストの聖血3滴が納められていると伝えられているため。地元の家具職人エーハルト・ハルシュナーが組み立てを担当。ロマンティック街道付近の教会などに多くの作品を残しているが、ドイツ農民戦争(1524)に巻き込まれて利き腕を痛めてしまい、以後は作品を手掛けることができなくなった。また、彼はヴュルツブルク出身で、1520～1521年にかけてヴュルツブルク市長(大津市と姉妹都市)を務めた。その宗教性・精神性で著名なリーメンシュナイダーは、マティアス・グリュネヴァルト「イーゼンハイムの祭壇画」(ウンテルリンデン美術館 アルザス)と並ぶ中世・近世ドイツにおける宗教美術家。

右臍抵抗圧痛。脈は沈緊緩。そこで、桂枝茯苓丸加薏苡仁+大黃牡丹皮湯+大黃+サワリ(分3)処方。血色素 9.3、子宮筋腫 5cm。7ヶ月後、子宮筋腫 6cm、血色素 10.3。1年 4ヶ月後、子宮筋腫 8.5cm、血色素 9.8。2年 2ヶ月後、子宮筋腫 6cm、血色素 9.8。3年 2ヶ月後、子宮筋腫 5cm、血色素 10.8。3年 7ヶ月後、現在も継続中。

59歳女性、**更年期障害**、のぼせ、発汗、腰痛、足の冷え、肩こり、下肢のむくみ、便秘(1/4日)、155cm、60kg。顔は良好、お腹の緊張は良好、胸脇苦満軽度、心下痞硬(+)、臍上悸(+)、両側臍傍抵抗圧痛(+)、臍下不仁(-)。脈は沈緊遅。舌、紫紅色、乾薄白黄苔、舌下静脈怒張。そこで、柴胡加竜骨牡蠣湯+黄連解毒湯(朝後)、通導散+桂枝茯苓丸(夕)を処方。。6ヶ月後、ほぼ症状は改善したが、なんとなくのぼせと汗が出る。そこで、ムシモン(プラセンタ)を1週間に3本併用。3週間後からのぼせも発汗も改善した。現在も継続中。

49歳女性、**うつ病**、164cm、62kg、眠れない、寝ようとするとう頭が冴える、午前零時に就寝だが3時間後から眠れない。パキシル、セパゾン、デパス服用中。臍傍抵抗圧痛、臍上悸。柴胡加竜骨牡蠣湯+黄連解毒湯+桂枝茯苓丸処方。1ヶ月後、不眠状況は変わらないが、デパスの量が減った。2ヶ月後、睡眠時間4~6時間に増えた。4ヶ月後、秋になったが、例年なら、電気毛布が必要だったが、今年は不要になった。1年後、ペットがいなくなったら、胸苦しさといらい感が再発した。柴胡加竜骨牡蠣湯+黄連解毒湯+桂枝茯苓丸を柴胡加竜骨牡蠣湯+黄連解毒湯に変更、更に、柴陷湯を併用した。1年3ヶ月後、現在も継続中。



[院長]

子宮筋腫

月経周期のある婦人に多く発生し、ホルモン依存性である。主な症状は過多月経と貧血。特に粘膜下筋腫では症状が激しいことがある。治療は手術療法と薬物療法である。薬物療法にはGnRHアゴニストがあり、一時的だが筋腫核が縮小する。手術前や閉経期に使用することが多い。過多月経には、経口避妊薬、ミレナ(黄体ホルモン放出型子宮内膜避妊システム)、マイカ波内膜凝固術(MEA)、漢方治療がある。挙児希望でなければ子宮動脈塞栓術(保険適応)や集束超音波治療も行われている。当院では、GnRHアゴニスト、経口避妊薬、ミレナ、漢方治療を実施しています。



更年期障害

閉経期の前後5年に現れる多種多様な症状だが、器質的変化が原因でないものです。ホットフラッシュ(ほてり、のぼせ、発汗過多、動悸など)の原因は血管運動神経障害ですが、精神的な症状(抑鬱、不眠、倦怠感、食欲不振など)を現わすタイプもあります。鬱病、甲状腺疾患、メニエル病、関節リウマチ、椎間板ヘルニア、変形性膝関節症、高血圧治療中、脳腫瘍などの病気があれば専門医に紹介しています。当院では、漢方治療、HRT(ホルモン補充療法)、アンチエイジング治療(プラセンタ治療など)、向精神薬治療を実施しています。特に、漢方専門医による漢方治療とアンチエイジング専門医によるアンチエイジング治療を得意としています。



うつ病

うつ病は、「気分障害」のひとつで、精神症状(憂うつ、やる気が出ない)、身体症状(眠れない、疲れやすい、体がだるい)を現わします。「うつ病性障害」と「双極性障害(躁うつ病)」に分けられます。

十分な休養をとり心と体を休ませる、職場や学校、家庭などで受けるストレスを軽減できるように環境調整をする。たとえば、職場での配置転換や残業時間を短縮してもらったり、家事を分担して手伝ってもらったりすることです。当院では、漢方治療を中心に、抗不安薬(デパスなど)、睡眠薬、抗鬱薬等を使用しています。希死念慮のある方は精神科に紹介しています。



マタニティクラスのご案内

場所: 当院4階 多目的ルーム

申込方法: 申込ノートでご予約お願いします。

立会分娩ご希望の方は特にご参加をお薦めします。

(申込ノートにお名前のご記入をお願いします。)

マタニティクラスでは院内冊子の「HELLO BABY」にそって、お話をすすめていきます。

ご夫婦でのご参加も多くご主人様もお気軽にご参加ください。参加時には「HELLO BABY」

「母子手帳」を忘れずにお持ち下さい。



マタニティヨガ
14:30-16:00

3/5・19 4/2・16 5/7・21

前・中期-マタニティクラス
13:30-15:30

3/7 4/4 5/2

後期-マタニティクラス
13:30-15:30

3/12・26 4/9・23 5/14・28

剤型

エキス漢方薬：錠剤タイプの漢方薬と顆粒タイプの漢方薬があります。

漢方煎じ薬：良質の生薬を組み合わせた漢方薬。25～30分煮て作ります。当院の顆粒タイプの漢方薬は、胃になじみやすい反面、湿気に弱いので、乾燥剤の入った容器に入れ、しっかり蓋をして下さい。それでも固まる場合、冷蔵庫（冷凍庫）で保管して下さい。

適応症

便秘、頭痛、肩こり、腰痛、食欲不振、疲れ、冷え、むくみ、痛み、痺れ、動悸、めまい、ほてり、発熱、かゆみ、排尿障害…などすべての症状。

漢方薬のよく効く疾患

アトピー性皮膚炎、更年期障害、便秘、腰痛、肩こり、子宮内膜症、子宮筋腫、生理痛、冷え性、不妊症、低血圧、めまい、頭痛、下痢、動悸、過敏性大腸、慢性疲労、風邪、肥満、夏ばて、慢性肝炎、肝硬変、慢性胃炎、慢性脾炎、慢性胆嚢炎、胆石、胃十二指腸潰瘍、痛風、慢性膀胱炎、血尿、前立腺肥大、蕁麻疹、接触性皮膚炎、にきび、慢性中耳炎、慢性扁桃腺炎、慢性副鼻腔炎、口内炎、口腔乾燥、虚弱児、切迫流産、妊娠中毒症、産後回復不全、乳腺炎、乳汁分泌不全、乳腺症、上下肢浮腫、膝関節症、神経痛、帯状疱疹後神経痛、下肢静脈瘤、クーラー病…

漢方薬と西洋薬を併用することの多い疾患

高血圧、高脂血症、高コレステロール血症、アレルギー性鼻炎、不眠症、自律神経失調症、うつ病、骨粗鬆症、糖尿病、慢性関節リウマチ、痔、肝硬変、喘息、腎炎、甲状腺疾患、夜尿症、脳梗塞後遺症、脳出血後遺症、抗癌剤使用後倦怠感、抗癌剤使用時副作用…

エキス漢方薬と漢方煎じ薬

- ・軽症・中程度の病気：漢方製剤（顆粒あるいは錠剤）を組み合わせで治療。
- ・重症の病気、エキス剤が無効：漢方煎じ薬で治療。

女性の方、男性の方、お子様、高齢の方、ご相談下さい。

問診、望診（舌診）、聞診、切診（腹診と脈診）の東洋医学的診察法（四診）や検査（超音波、血液、便、尿、痰膿分泌物、心電図、骨量測定…

アトピー軟膏 健康食品（グルコサミン、コンドロイチン、のどアメ）

漢方薬（生薬）のみで作られた軟膏です。

- ・紫雲膏・太乙膏・葉酸（鉄）・霊芝・サメ軟骨・快步楽
- ・のどアメ（ハーブ イチゴ）

スーパーライザー（神経照射）

赤い温かい光（近赤外線）で血行をよくし、腰痛、肩こり、五十肩、膝の痛み、ムチウチ、捻挫、アトピー性皮膚炎、花粉症、ストレス…などの治療に利用しています。

妊婦健診 携帯またはパソコン予約

当クリニックではWEB（携帯・PC）予約システムを導入しています。午前診・午後診の「順番取り」となります。

（時間指定の予約ではありません。）

「妊婦検診」のみ予約をお取りいただけます。

妊婦健診WEB予約受付時間

午前9：15～午後12：15

午後4：45～午後6：45

ご来院窓口受付時間

午前8：30～午後12：30

午後4：30～午後7：00



※受付時間内であればWEB予約無効終了後も来院窓口受付をさせて頂きますが、予約の方が多い場合は待ち時間が長くなる事があります。

※予約の方は余裕を持ってご来院ください。

提携病院との密な連携診療

- 当院は、
- ・大津赤十字病院 産婦人科、新生児科
 - ・大津市民病院 産婦人科
 - ・滋賀医科大学付属病院
 - ・京都大学医学部付属病院
 - ・京都第一赤十字病院 産婦人科



の病院と提携していますので、妊婦さんや赤ちゃんに何かあればすぐに連携して診察に当たりますのでご安心ください。

胎児スクリーニング外来

妊娠20～24週で妊婦健診中1回20分程度時間をかけて行います。

月・水・金曜日 午後2時～4時

当院で分娩（3000円） 他院で分娩（5000円）

健康保険証の確認

保険証は毎月確認することになっています。保険が使えなくなると困りますから、保険証の変更は、早急に受付に連絡して下さい。

従業員募集

看護師、助産師（常勤、パート）

面接：随時、各種保険加入、賞与：年2回、交通費支給

予防接種 ワクチン接種

子宮頸癌予防ワクチン、インフルエンザ、BCG、四種混合（DPT-IPV）、三種混合（DPT）、麻しん・風しん（MR）、日本脳炎、水ぼうそう、ポリオ、ロタウイルス、おたふくかぜ、Hib（インフルエンザ菌b型）、肺炎球菌ワクチン（小児用 プレベナー）（高齢者）、その他



AABR検査（自動聴性脳幹反応検査）

浮田クリニックでは、入院中に全ての赤ちゃんに聴覚スクリーニング検査を行います。聴覚検査はなかでも信頼性の高いAABR検査です。赤ちゃんに刺激音を聞かせて脳波を測定し、脳波の波形により自動的に聴力の異常を見つけ出す検査です。額に脳波の電極を貼り、耳にヘッドホンをあてるだけで、体には全く害はありません。簡単な検査ですが、非常に高い正確さで先天性難聴が発見できます。



日本抗加齢学会専門医によるアンチエイジング外来～プラセンタ療法～

更年期障害、産後乳汁分泌不全の場合は、健康保険での保険診療。その他のアンチエイジングの場合は、自費診療となります。プラセンタ注射、内服等取り揃えております。その他、各種プラセンタ化粧品もありますのでご相談下さい。

マタニティーヨガ

マタニティーヨガのインストラクターによる教室で実施されています。4階のお部屋からの景色もお楽しみください。

当院分娩の方：1000円、他院分娩の方：1500円

ママのご褒美エステ

プロのエステティシャンによる極上のエステを当院専用エステルームにて入院中1回提供させて頂きます。

パソコンホームページ (<http://www.ukita.gr.jp>)

- ・トップページ（お知らせの欄、診療日程カレンダー）
- ・産科と婦人科のページ（入院、食事、各種教室、指導）（癌検診、不妊症、更年期障害）
- ・漢方治療のページ（漢方治療）
- ・各検診と予防接種のページ（健診、プライダルチェック、予防接種）
- ・当院の施設案内、当院への交通（車、JR）

乳児外来：毎週、火曜日午後（午後3時～4時30分）には、滋賀医大小児科による乳児健診を行います。

外来用診療時間	月	火	水	木	金	土	日
午前診療(午前9時～12時30分)							
産科	副院長	恵 医師	副院長	恵 医師	副院長	副院長	—
婦人科	院長	副院長	恵 医師	恵 医師	恵 医師	恵 医師	—
漢方科	院長	院長	院長	院長	院長	院長	—
予防接種・胎児スクリーニング(午後2時～4時) ベビー健診(午後3時～4時)							
予防接種	院長	—	院長	—	院長	—	—
胎児スクリーニング	副院長		副院長		恵 医師		
ベビー健診	院長	滋賀医大 小児科医	院長	—	院長	—	—
午後診療(午後4時30分～7時)							
産科	副院長	—	恵 医師	—	恵 医師	—	—
婦人科	院長		副院長		院長		
漢方科	院長		院長		院長		

院長：浮田徹也、副院長：浮田真吾、恵医師：浮田恵 ※女性医師外来は月曜日以外毎日対応します。

■女性医師外来：月曜日以外毎日対応します。土曜日は京大病院からの女性医師が担当する場合があります。

■漢方外来（月～土）：内科、小児科、皮膚科、産婦人科、整形外科、耳鼻科、眼科など全科の漢方薬による治療。

■産後母子健診（月～金）：12:00～予約制 当院退院5日目の赤ちゃんとお母さんの状態の診察を全員行います。

■乳児外来：毎週火曜日午後（午後3時～4時30分）は、滋賀医大小児科医師による健診を行います。

■胎児スクリーニング外来：（妊娠20-24週の間に行います。外来は、月曜日・水曜日・金曜日の午後2時～4時の間。1人20分前後。予約制。）
当院分娩予約の方 3000円 他院分娩予約の方 5000円

■アフターデリバリーサポート(母乳相談：月～土、育児相談：月・水・土)：退院した後のママとお赤ちゃんの母乳相談や育児相談をプロの助産師がサポートします。
電話予約制。

■不妊外来（月～土）：タイミング指導やホルモン治療や漢方薬治療や精子検査を実施。人工授精も行っております。1ヶ月1回(土曜日) 兵庫医科大学の医師による不妊外来。

■更年期外来（月～土）：ホルモン治療や漢方治療を行い総合的な診察を行います。

■アンチエイジング外来（月～土）：プラセンタ注射や内服製剤での治療を行います。

かっこう

葛洪(281～341)

有名な煉丹家。流行病・伝染病の大家。のんびりした性格、口下手、付き合い下手、服も質素、無口で、「抱朴の土」と呼ばれ、自ら「抱朴子」と号した。諸子百家、医学や養生、煉丹術（鄭隱に師事）を学んだ。「抱朴子」（全70巻）「金匱要略」（100巻）「肘後備急方」（後に「肘（ちゅう）後（ご）備急方」（陶弘景らが補充整理）を残している。葛洪の功績の錬金術（化学）が中国からアラビアに、更にヨーロッパに伝わり近代化学の始まりとなった。



分娩予約

妊娠20週までに受付で予約をして下さい。ご来院がむづかしいようでしたら一度連絡を頂ければ適宜ご対応させていただきますので、まずはご連絡下さい。予約された方には、入院誓約書、直接支払い制度合意書をお渡しします。

アフターデリバリーサポート(助産師)(電話予約)

退院した後のママとお赤ちゃんの母乳相談をプロの助産師がサポートします。授乳や赤ちゃんの体重の増え方、ミルクの飲み具合等について何でもご相談下さい。

母乳相談：月～土
育児相談：月・水・土



里帰り出産を予定されている方へ

当院は里帰り出産を受付けています。妊娠19～22週頃にスクリーニング外来（ママとお赤ちゃんの状態をチェックします）にて診療いたしますので、ご予約お願いいたします。もし、時間の調整ができず、受けておられなくても里帰り出産は可能ですのでご連絡下さい。当院での妊婦健診は妊娠34週頃から受けて下さい。

分娩生活

正常分娩の場合、入院日を含め、初産婦の方は6日間、経産婦の方は5日間です。当院では立会い分娩を推奨しています（帝王切開を含む）。調乳及び飲み水は還元水を使用しています。

産後健診

月～金 12時～予約制

ベビー健診(電話予約)

1ヵ月、2ヵ月、3ヵ月健診（有料）、4ヵ月健診（公費）
日時：毎週月、水、金曜日 午後3時～4時（院長）
火曜日 午後3時～4時半（滋賀医大 小児科医）

入院食(手作り)

厨房スタッフの作る心のこもった手作り料理です。旬の素材、味付け、メニュー…など、絶えず工夫し研究しています。パンも焼き立てを用意します。退院前日、当院4階のレストランでディナーをお楽しみください。

産科医療補償制度

分娩により重度の脳性麻痺となった児及びその家族の経済的負担を補償し、原因分析と再発防止策を講ずるための制度。当院で通院方に、登録証を発行しています（妊娠16～22週）。詳細は受付でお聞きください。